

平成 2 8 年 3 月

# 伊東市議会 3 月定例会

## 一 般 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

一 般 質 問 順 序

1 佐 山 正 君

(3月3日(木) 10時～10時50分)

2 浅 田 良 弘 君

(3月3日(木) 11時～11時50分)

3 篠 原 峰 子 君

(3月3日(木) 13時～13時50分)

4 重 岡 秀 子 君

(3月3日(木) 14時～14時50分)

5 四 宮 和 彦 君

(3月3日(木) 15時～15時50分)

6 佐 藤 龍 彦 君

(3月4日(金) 10時～10時50分)

7 山 口 嘉 昭 君

(3月4日(金) 11時～11時50分)

8 杉 本 一 彦 君

(3月4日(金) 13時～13時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 山 正

1 2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて、以下3点伺う。

(1) 合宿の誘致についてどのように考えているか伺う。

(2) 観光客等の誘客を図るための施策について伺う。

(3) JR宇佐美駅を自転車競技の会場であるベロドロームへのアクセス駅としてPRすべきと考えるが、いかがか。

2 体育施設の整備について、以下2点伺う。

(1) 市営サッカーグラウンド調査事業の進捗状況と今後の方向性について伺う。

(2) 小室山公園テニスコートに放送設備の設置が必要であると考えますが、いかがか。

3 おもてなしの心の育成について、以下2点伺う。

(1) 第2次伊東市観光基本計画において、「来訪者に感動を与える最高のおもてなし力をもった観光地を目指す」としているが、伊東歴史案内人やジオガイドの養成講座等の成果をどのように評価しているか伺う。また、新たな講座の開設や新規事業等を行う考えはないか伺う。

(2) 若い力の育成等の観点から、高校生観光おもてなし特派員事業について、一定の成果が出ているものと思われるが、小・中学生に対してもおもてなしの心の育成を図るための機会を設ける必要があると考えるが、いかがか。

4 教育に関連し、以下2点伺う。

(1) 平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査を踏まえ、本市の子供たちの体力の現状についてどのように分析しているか伺う。また、今後、どのような取り組みを進めていくのか伺う。

(2) 今般、教科書検定に関する問題がよく報道されているが、本市における教科書の採択はどのように行われているのか伺う。また、この問題で本市に影響やかかわりがあるのか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 浅 田 良 弘

- 1 今夏の参議院選挙から、自治体の判断により、居住する自治体の駅やショッピング施設などで投票できる共通投票所の設置が可能となり、また、期日前投票が午前6時30分から午後10時まで投票できるようになる見込みであるが、本市の考え及び取り組みについて伺う。
  
- 2 空き家抑制に向けた政策について、以下3点伺う。
  - (1) 昨年5月に完全施行された「空き家対策特別措置法」における本市の取り組みについて伺う。
  
  - (2) 住生活基本法に基づく住生活基本計画の変更の見通しについて伺う。
  
  - (3) 移住定住を推進する観点から、空き家や古民家を活用すべきと考えるが、いかがか。
  
- 3 老人福祉法や知的障害者福祉法等において、市民の生活や財産を守るとの観点から、成年後見人制度に係る本市の考えについて伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 篠 原 峰 子

- 1 多様化する子育て家庭のニーズに沿った情報を提供するためのツールの一つとして、「子育て応援アプリ」を導入する考えはないか伺う。
  
- 2 公共施設や民間施設の協力のもと、乳幼児を連れた方が外出中に誰でも無料で授乳やおむつがえなどができるスペースを提供する「赤ちゃんの駅」の導入、また、野外でのイベント会場などで授乳スペースやおむつがえに利用できるテント「移動式赤ちゃんの駅」の貸し出し事業を実施する考えはないか伺う。
  
- 3 放課後子ども総合プランに関連して、以下2点伺う。
  - (1) 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の現状及び今後の予定について伺う。
  
  - (2) 未設置小学校区も含めた放課後児童クラブへの支援体制について伺う。
  
- 4 選挙権年齢が18歳に引き下げられる今夏の参議院選挙を前に、3月にも公職選挙法が改正される見込みだが、投票率の向上を図るための方策について伺う。
  
- 5 デマンド型乗り合いタクシー「赤沢デマンド号」の運行について、これまでの状況と今後の見通しについて伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

- 1 機構改革に伴い市長公室課を市政戦略課に名称変更することから、その役割について、以下3点伺う。
  - (1) 市政戦略課は、具体的にどのような役割を担うのか伺う。また、重点的に取り組む事業等について伺う。
  - (2) いとう市民活動支援センターP a l の廃止に伴い、市政戦略課がその業務を引き継ぐとのことだが、どのように市民活動を支援していくのか伺う。
  - (3) 地域の行政組織、あるいは、財産区や自治会、町内会は、市民力を生かすための重要な組織であるが、高齢者や子育て世代への支援等において独自の活動を始めている地域がある一方、運営に悩みを抱えている地域もあることから、町内会長等を対象としたセミナーや情報交換の場を計画してはいかがか。
- 2 第4次事業計画の策定が進められている健康保養地づくり事業について、以下2点伺う。
  - (1) 健康保養地づくりは、本市の観光やまちづくりの発展にとって不可欠な視点であり、大変重要な施策であると考えるが、事業計画の見直し、策定及び事業の実施は、どのような組織で行われているのか伺う。
  - (2) 本事業は、観光客だけでなく市民にかかわる幅広い事業が展開されていくようだが、事業の目的を明確にし、重点的な事業を充実させるなど、しっかりと検証すべきではないかと考えるが、いかがか。
- 3 低所得層の市民にとっては医療費も大きな負担であると思われることから、国民健康保険法に規定する窓口負担の減免制度に関し、制度の周知や利用しやすい環境整備を図っていくべきであると考えるが、いかがか。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

- 1 ふるさと伊東応援寄附金について、以下4点伺う。
  - (1) ふるさと納税制度が導入されてからこれまでの間における寄附について、各年度及び累計の実績を伺う。
  - (2) 伊東市民による他自治体へのふるさと納税について、各年度及び累計の実績を伺う。
  - (3) (1)及び(2)における実績を踏まえ、ふるさと伊東応援寄附金のあり方及びふるさと納税制度について、どのように評価するのか伺う。
  - (4) 地方創生戦略において、ふるさと納税制度の果たす役割をどのように考えているのか伺う。
  
- 2 地方創生に関する政策においては、教育への投資が最重要であると考えているが、教育投資に係る本市の考え方について、以下5点伺う。
  - (1) 幼稚園及び保育園の保育料の無償化について
  - (2) 学校給食費の無償化について
  - (3) 高校・大学進学者への給付型奨学金制度など、教育費の負担軽減に資するための施策の拡充について
  - (4) 教育投資に係る財源確保の見通しについて
  - (5) 小・中学校における理科教育、ICT教育等の設備整備の状況について



## 一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 龍 彦

- 1 地域や市民活動を支援しているかがやくまちづくり事業について、以下2点伺う。
  - (1) どのような団体、活動に対して補助金が支出されているのか、また、そのうちLED防犯灯設置に係る補助はどれくらいあったのか実績を伺う。
  - (2) 本事業をさらに周知し、生かしていくために、さまざまな活用例を積極的にPRしていく必要があると考えるが、いかがか。
- 2 子供の貧困対策が急務となっている中で、就学援助制度について、以下4点伺う。
  - (1) 本市において就学援助を受けている児童・生徒の数とその割合を伺う。
  - (2) 援助の種類について伺う。
  - (3) 中学校では部活動に係る費用負担が大きいと思われることから、就学援助の対象にできないか伺う。
  - (4) 本制度は、どのような方法で周知されているか伺う。
- 3 不登校対策の一つとして、ソーシャルワーカーなどの専門職を活用しているが、具体的にどのような活動をしているか、また、増員の計画はあるか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 山 口 嘉 昭

- 1 本市における地域福祉の現状と課題について、以下4点伺う。
  - (1) 障がい者（児）（身体障害、知的障害、精神障害等）の施設への入所者及び待機者の状況並びに待機者の解消に向けた方針や取り組みについて
  - (2) 就労施設、通所施設、グループホーム等の利用状況及び今後の整備方針について
  - (3) 高齢者や障がい者の利用に配慮した生活環境の整備として、松川遊歩道における大川橋から通学橋までの区間の段差解消及びベンチの修繕について
  - (4) 障がい者本人及びその家族や介護者等を対象とした相談支援の現状及び今後の課題について
- 2 本市における地域防災の取り組みと危機管理体制について、以下5点伺う。
  - (1) 駿東伊豆消防組合の発足に当たり、本市消防団及び自主防災組織等において、東伊豆町との連携や合同訓練を行っているか。
  - (2) 幼稚園・保育園及び小・中学校等教育施設の耐震化の状況及び今後の計画について
  - (3) 土砂災害危険箇所の現況及び今後の対策について
  - (4) 災害時において必要となる備蓄品の内容や保管場所の状況について、また、災害時等におけるごみの収集及びし尿の処理対策について伺う。
  - (5) 世界各地でテロが起きているが、本市としてのテロ対策についてどのように考えているか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

- 1 伊豆の人口減少が急速に進む中、将来の伊豆の地域づくり等のあり方について、以下2点伺う。
  - (1) 伊豆地区13市町全てに人口減少が見られ、今後もこのような傾向が続くことが予想される中、伊豆地区各市町の合併について、伊豆半島7市6町首長会議の会長を務める市長の見通しと見解を伺う。
  - (2) 伊豆東海岸地域における経済や地域住民の生活を支えていくためには、伊豆縦貫自動車道と伊豆東海岸をつなぐ肋骨道路の整備が重要であると考えているが、いかがか。
  
- 2 本市における鹿やイノシシによる被害を防ぐためには、伊豆全体での対策や取り組みが必要であると考えているが、伊豆全体を見通した中での被害対策について、以下3点伺う。
  - (1) 本市の鹿やイノシシによる被害の実態と対策について伺うとともに、その対策による成果と今後の見通しについて伺う。
  - (2) 狩猟免許等の取得に対する支援体制の強化充実を図るべきと考えているが、いかがか。
  - (3) ジビエ料理の普及を進めるなど、鹿肉やイノシシ肉の流通を促進すべきと考えているが、いかがか。

3 本市におけるふるさと納税について、以下3点伺う。

(1) 本市への寄附の状況及び伊東市民による他自治体への寄附の状況を伺う。

(2) 市民税等の減少により財政が厳しいと言われていた地方自治体がふるさと納税に特典をつけ充実を図る中で、地域経済の活性化や福祉等に関連する施策の拡充等を図っている事例もあると伺う。本市としても「特典つきふるさと納税」を始めるべきと考えるが、いかがか。

(3) 地方創生推進に向けた国の政策として「企業版ふるさと納税」が創設されることから、市として積極的に受け入れていくべきと考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。